

令和5年度 学習指導計画表			校長		副校長		教務		教科			
教科名	理 科	単位数	⑩									
科目	物理	4	指導者 (氏名・印)									
	< 自由選択 >											
学年・組	3 学年選択者	教科書 補助教材	改訂物理(東京書籍)									
科目について 年間授業計画	一学期	中間	<p>物理基礎の範囲の確認と復習</p> <p>1 剛体にはたらく力のつり合い ①質点と剛体 ②力のモーメント ③剛体のつり合い</p> <p>2 平面上の運動と放物運動 ①平面上の運動 ②放物運動</p> <p>3 円運動と万有引力 ①円運動 ②慣性力 ③万有引力</p> <p>* 基本用語を理解し、剛体、平面運動、円運動などの様々な運動について理解を深め、物理学的に探求する能力を高める。</p>								48 時間	合計 140 時間
		期末	<p>4 単振動 ①単振動</p> <p>5 運動量 ①運動量と力積 ②運動量保存の法則 ③反発係数</p> <p>6 気体分子の運動と圧力 ①気体の性質 ②気体分子の熱運動</p> <p>7 気体の状態変化 ①気体の状態変化 ②熱機関と熱力学第2法則</p> <p>* 基本用語を理解し、単振動と衝突・分裂現象の理解を深め、熱とその利用について理解を深めるとともに、物理学的に探求する能力を高める。</p>									
	二学期	中間	<p>1 波の性質 ①波の表し方 ②波の伝わり方</p> <p>2 音 ①音の性質 ②ドップラー効果</p> <p>3 光 ①光の伝わり方 ②光の回折と干渉 ③レンズと鏡</p> <p>1 電場と電位 ①静電気 ②電場(電界) ③電位 ④電場の中の物体 ⑤コンデンサー</p> <p>2 電流 ①電流 ②直流回路</p> <p>* 基本用語について理解し、波に関する現象の理解を深めるとともに、物理学的に探求する能力を高める。また、電気のご概念とコンデンサー等の性質について理解する。</p>								52 時間	
		期末	<p>3 電流と磁場 ①磁場(磁界) ②電流がつくる磁場 ③電流が磁場から受ける力</p> <p>4 電磁誘導と電磁波 ①電磁誘導の法則 ②自己誘導と相互誘導 ③交流 ④電磁波</p> <p>* 基本用語を理解し、電気や磁気に関する現象について理解を深め、物理学的に探求する能力を高める。</p>									
	三学期	学年末	<p>1 電子と光 ①電子 ②光の粒子性 ③X線 ④波動性と粒子性</p> <p>2 原子と原子核 ①原子の構造 ②原子核 ③原子核の崩壊</p> <p>④核反応と核エネルギー ⑤素粒子</p> <p>終章 物理学が築く未来</p> <p>* 基本用語を理解し、原子に関する現象について理解を深め、物理学的に探求する能力を高める。</p>								40 時間	
評価の観点			評価の方法			備考						
①物理の基本的な概念の修得 ②物理の諸法則の理解 ③物理計算の理解と修得			以下の項目について個々に評価し 最終的には総合的に評価する。 ①定期考査の得点 ②出席状況			生徒の理解度に応じて進度を調整する。						